

9/9 復興計画の実現に向けて



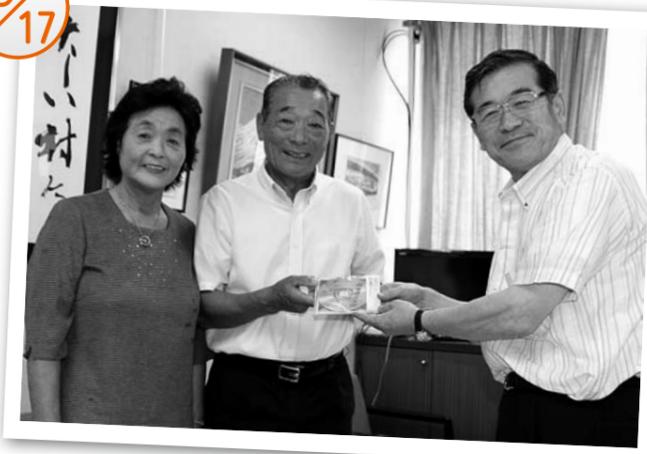
▲村内拠点のジオラマを前に議論する委員

「いいたてまでの復興計画推進委員会」が、第4版の策定に向け初回の会議を行いました。会議では委員の委嘱や、委員会への諮問が行われた他、この間の情報を共有して現状を確認。村民の意向に寄り添う復興計画となるよう、ワークショップでまとめられる行政区ごとの計画や、村民アンケートの結果をふまえて議論することを申し合わせて、早速協議を行いました。

9/17 飯館復興の桜を歌う

會田征男さん(伊丹沢)が、自身の歌う「飯館復興の桜」のCD100枚を村に贈りました。岩本かおるさんの作詞に、會田さんが補作。プライムレコード社が曲を提供した一曲です。會田さんは、CD制作を機に、会長を務める「飯館桜を守る会」の活動もさらに広げていきたいと話していました。

※会やCDについての問い合わせは會田さん(☎090-4048-3258)まで。



▲CDを村長に手渡す會田さん(中央)と妻のツタ枝さん(左)

9/19 「一閑張り」を飯野町の皆さんと



▲うちとけて笑顔で説明をする佐藤さん

飯野学習センターで「一閑張り講座」が開かれ、佐藤美喜子さん(関根・松塚)が講師を務めました。佐藤さんは「(飯野地区の)支所や交流館をお借りし皆さんに大変お世話になっています」と感謝を伝えて講座をスタート。共に一閑張りに取り組む「やまゆり会」の3人の仲間と共に、参加者と親しく話をしながら、制作のコツを丁寧に伝えていました。

8/26 望郷の思いを歌にのせて

大澤トシ子さん(上飯樋)は、俳句を作ったり、いいたてお母さんコーラスに所属していた時には「飯館音頭」を作詞したりと、文芸を趣味にしています。この避難後、パークゴルフに参加したことを題材に心情を綴った作品を、広報へお届けいただきました。紹介します。

♪ 若屋雁之助さんの曲「娘よのメロディー」で歌ってください

吾妻おろしの緑の芝生
澄んだ青空、花見山
慣れぬプレーに勢いを出し
仲間の笑いについ引かれ
世間話に花が咲く
すぐに帰れるふる里がある
あぶくま川のしづきの恵み
清き流れに、さそわれて
プレーの中には友情の
想いあふれる絆あり
悪しき風評、飛ばしたい
すぐに帰れるふる里がある
遠く離れて暮らしていても
忘れてならない、あの日の事を
誰にも心配あるけれど
共に感謝を忘れずに
何故か聞こえる牛の声
すぐに帰れるふる里がある

パークゴルフの歌
(グライウンド・ゴルフの歌)

8/29 手作りの三角巾を子どもたちのために



▲三角巾は三校の5・6年生が調理実習や各家庭で使います

庄司喜久江さん(関根・松塚)が、草野・飯樋・白石小学校に、かわいらしい柄の三角巾100点をプレゼントしました。庄司さんは避難前、子や孫が通った白石小学校の行事にスイカを差し入れる等してきました。「(避難中でも)三角巾作りならできる」と、こつこつミシンがけをし手作りしたとのこと。

代表児童が「大切に使います」と受け取りました。

9/6 緊急時に備える県警オフロードバイク隊

緊急時の悪路を、オフロードバイクを使って現場に向かう、福島県警交通機動隊の訓練が行われました。この訓練は、飯館村の他、葛尾村や双葉町等合わせて6か所から総勢23人の隊員が、防犯パトロールを行いながら東京電力福島第一原子力発電所方面へと走行するものです。村内では公民館の駐車場から7台のバイクが発進して訓練を行いました。



▲トラックの荷台から飛び出して訓練に向かいました

ひと月のできごとを
振り返ってお知らせします